

四三 從來此等案件、恐ハルモ、擇東、平定、八、最重カ行スベシ

三、工場閉鎖セラルト

四、以後解雇者ヲ出カレトナシ

五、成ルベク解雇者ヲ出カレ方針

六、他日武庫ノ頁場ニ就テ工場法ニテ手交支給セラレタシ(幸願ハ取工側ニテテ做回ス)

七、別業使用ノ場合ハ日給ニ別増セシメテ

八、別増ニスベシ(運東ハ別増)

九、取工一同協議ノ上、嘆致ス也

取工一同

幸田製作所主殿

- 一、六月一日附解雇申渡者ヲ取者ニコト
- 二、臨時工ヲ即時解雇ニ並ヌコト
- 三、解雇手交制定ノ件 解雇手交ハ六月十日方テ支給スルコト
- 四、勤度手交制定ノ件 勤度手交ハ六月十日方テ支給スルコト

嘆致書係取中、右以外ノ弟類ハ嘆致書回答ノ邊テ承認スルコト

工場長殿

取工一同

勞務第二五七二號

昭和六年六月廿四日



警視總監 高橋 守雄

内務大臣 安達 謙 殿
社會局長 官 殿
各縣 村 縣 長 官 殿 (八縣有轄)

幸田製作所勞働爭議ニ関スル件

要旨

六月二十日勞資會見、結果圓滿解決セリ。六月十七日午後一時五十分頃、爭議開始、幸田製作所ニ對シテ、暴行ヲ為シタル者、三ノ名ヲ檢挙、取捕、上訴致セリ。

標記爭議ニ就テハ既報ノ通りナルカ、其後勞資間ニ於テ教次ノ折衝ヲ重シク、アリシカ、六月二十日午後五時ヨリ、西平野署樓上ニ於テ、事業主幸田徳松、勞働者側村野善由、小野勝藏、田辺倉吉、組合代表大久保、夏福、本直ニ等會見種々折衝、結果双方ノ互讓ニ依リ、平

2662
6. 6. 26